

## 寝太郎とわらじ

むかしむかしあるところに、寝太郎という名前の、それは大そうなまけ者の男の子がいました。寝太郎は来る日も来る日も寝てばかりいて、両親の手伝いなどはお構いなし。寝太郎のお父さんは寝太郎を何度も叱りましたが、それでも言うことを聞きません。そんなある日、寝太郎はお父さんに船を一そう作ってくれと頼みました。お父さんはどうして船がいるのかたずねましたが、寝太郎は答えようとしません。お父さんは大そう腹を立てましたが、もし寝太郎が船に乗って出かけ、なまけるのをやめるのなら船を作ってやるといういました。

寝太郎はそうすると約束しましたが、今度は舟にわらじをいっぱい積み込んでくれと頼みました。お父さんはついに寝太郎がなまけ者ではなくうつけ者になったのかと思いましたが、それでもそうすることにしました。船が完成し新品のわらじが積み込まれると、寝太郎は船に乗って、砂金集めで有名な遠くの島へと出かけました。寝太郎は島の人々に、新品のわらじと古いわらじを交換しようといういました。

島の人々は、変な若者がやってきたと思いました。しかし新品のわらじはとても、はき心地がよさそうだったので、島の人々は寝太郎に古いわらじを渡して、新しいわらじとはきかえました。寝太郎は船いっぱい古いわらじをのせて、家へと戻りました。

家まで帰ったとき、寝太郎のお父さんは古いわらじを、一体どうするつもりなのかとたずねました。寝太郎はとにかくわらじを洗ってくれたら、わけを話すと言いました。お父さんは腹を立てましたが、なまけものの息子にはなれっこだったので、大きなおけを持ってきて、それ以上は何も考えずに、古いわらじを洗い始めました。

お父さんがわらじを全部洗い終わると、寝太郎がやってきて、何も言わずにおけから水をぬきました。すると、おけの底には、たくさんの砂金がこんもりたまっているではありませんか。島の砂金が、古いわらじの底にくっついていたのです！

たくさんの砂金を手に入れ、寝太郎は家族を豊かにして、お父さんはもう二度と寝太郎のことをなまけ者と呼ばなくなりました。

## Netaro and the Sandals

### 寝太郎とわらじ

Once upon a time, there lived a very lazy boy named Netaro.

むかしむかしあるところに、寝太郎という名前のそれは大そうなまけ者の男の子がいました。

He would sleep and sleep and never helped his parents.

寝太郎は来る日も来る日も寝てばかりいて、両親の手伝いなどはお構いなし。

His father would get angry with him, but Netaro just ignored him.

寝太郎のお父さんは寝太郎を何度も叱りましたが、それでもいうことを聞きません。

One day, he asked his father to build him a boat.

そんなある日、寝太郎はお父さんに船を一そう作ってくれと頼みました。

His father asked him why he wanted a boat, but Netaro wouldn't tell him.

お父さんはどうして船がいるのかたずねましたが、寝太郎は答えようとしません。

His father became angry but decided to build him the boat anyway, if only Netaro promised to sail the boat and stop being lazy.

お父さんは大そう腹を立てましたが、もし寝太郎が船に乗って出かけ、怠けるのをやめるのなら船を作ってやるとういいました。

Netaro agreed, but only if his father also promised to fill the boat with new sandals.

寝太郎はそうすると約束しましたが、今度は船にわらじをいっぱい積み込んでくれと頼みました。

His father thought he might be crazy instead of lazy, but he agreed.

お父さんはついに寝太郎がなまけ者ではなくうつけ者になったのかと思いましたが、それでもそうすることにしました。

After the boat was built and filled with new sandals, Netaro sailed to a far-away island famous for its goldmines.

船が完成し新品のわらじが積み込まれると、寝太郎は船に乗って、砂金集めで有名な遠くの島へと出かけました。

Netaro told the people there that he would trade them his new sandals for their old ones.

寝太郎は島の人々に、新品のわらじと古いわらじを交換しようとういいました。

The people thought he was a little crazy, too.

島の人々は、変な若者がやってきたと思いました。

But the new sandals look very comfortable, so they gave Netaro their old, worn sandals and put on the new ones.

しかし新品のわらじはとてもはきごこちがよさそうだったので、島の人々は寝太郎に古いわらじを渡して、新しいわらじとはきかえました。

Netaro filled the boat with all the old sandals and sailed back home.

寝太郎は船いっぱい古いわらじをのせて、家へと戻りました。

When he reached home, his father asked what he planned to do with all the old sandals.

家まで帰ったとき、寝太郎のお父さんは一体古いわらじをどうするつもりなのかとたずねました。

Netaro asked his father to wash the sandals first, and then he would tell him.

寝太郎はとにかくわらじを洗ってくれたら訳を話すと言いました。

His father became angry, but he was so used to his lazy son that he took a bucket and washed the old sandals without thinking.

お父さんは腹を立てましたが、怠けものの息子にはなれっこだったので、大きなおけを持ってきて、それ以上は何も考えずに古いわらじを洗い始めました。

As soon as his father had finished washing all the sandals, Netaro walked over to him and, without saying a word, drained the water from the bucket.

お父さんがわらじを全部洗い終わると、寝太郎がやってきて、何も言わずにおけから水を流し出しました。

There, at the bottom of the bucket, was a large mound of gold.

すると、おけのそこには、たくさんの砂金がこんもりたまっているではありませんか。

The gold from the mine had been stuck to the old sandals!

島の砂金が、古いわらじにの底にくっついていたので！

With the gold, Netaro made his family very rich, and his father never called him lazy again.

たくさんの金を手に入れ、寝太郎は家族を豊かにして、お父さんはもう二度と寝太郎のことをなまけ者と呼ばなくなりました。

(322words)